

「月、ロープ、インク、塩。ハンスと旅の支度」 ～アンデルセンの言葉と作品たち～

20年前、船橋市文化芸術ホール芸術アドバイザー、音楽家和田啓さんの発案でスタートしたアンデルセンを巡る旅はたくさんの出会いを生んでまいりました。のべ500人にも及ぶ8歳から80歳までのキャスト、スタッフ。その時々のお客のみなさん。そしてなによりも150年前に書かれた一人の詩人の数多くのメルヘン……。19世紀の西欧は近代化の只中にありました。大きな工場は新製品を大量に生み出し、張り巡らされた鉄道はあっというまに人や物をより遠くへ。人々の生活はより便利に、明るく。古く不便なものたちは次々に買い換えられ、不用品は処理されます。社会はエリートが動かし、人は人と区別され、マッチを造る工場を持つ資本家と余ったマッチを売る少女の人生はまるで違うものになりました。アンデルセンはビンの首や、捨てられたモミの木、取り残された老人、子供を亡くした母親、声をなくした人魚の人生を想い、語りました。それは彼が洗練された詩心や慈愛、高い徳、物事を見通す能力に恵まれていたからではありません。彼は自惚れが強く、嫉妬深く、自己憐憫と承認欲求のかたまりで、それゆえに絶望と深い孤独、取り返しのない後悔を痛いほど知っていたからです。

今回も例年のように、アンデルセン作品から三本ほど選び、公募による出演者によってオリジナル作品としてミュージカル舞台化します。ただ今回は、作家自身の人生の断片と作品を結び付け、その生涯も感じてもらうべく仕組んでいこうと考えております。

原田 一樹（脚本・構成・演出）

公募による参加者のみなさん／キャスト

（五十音順）

天田 公美子	A n n	池田 明季哉	池 田 六 花	い ぶ き
上 原 ち え	江 島 佑 佳	大 川 綾 香	大 蔵 京 子	大 島 愛 子
岡 田 愛 香	音 原 茜	笠 原 珠 美	笠 原 仁 子	門 島 華 恋
君 塚 麻 衣	倉田 佳代子	小泉 美智子	小 島 雅 美	小 林 理 和
白 井 知 花	高 橋 清 美	田 中 真 穂	て こ	D E K O
豊永 亜友子	中 沢 愛 子	橋 本 雫 音	宮 澤 凜 香	村 上 牧 美
M e g u	柳 井 春 香	柳澤 すみれ	や ま こ	吉野 美奈子
渡 邊 真 澄				

公募による参加者のみなさん／スタッフ

（五十音順）

いずみあさこ 市川 陽南子 高 橋 秀 郎 御子柴 文子

和田 啓（船橋市文化芸術ホール 芸術アドバイザー）

今なお読み継がれるアンデルセン童話の世界を、直に触れる事の出来る物語として、大人も子供もみんなで作って、ご覧頂く皆さんと共有したい、そして未来に手渡したい。そんな思いの結晶がこの作品です。果てない物語の旅をどうぞご一緒にお楽しみください。

